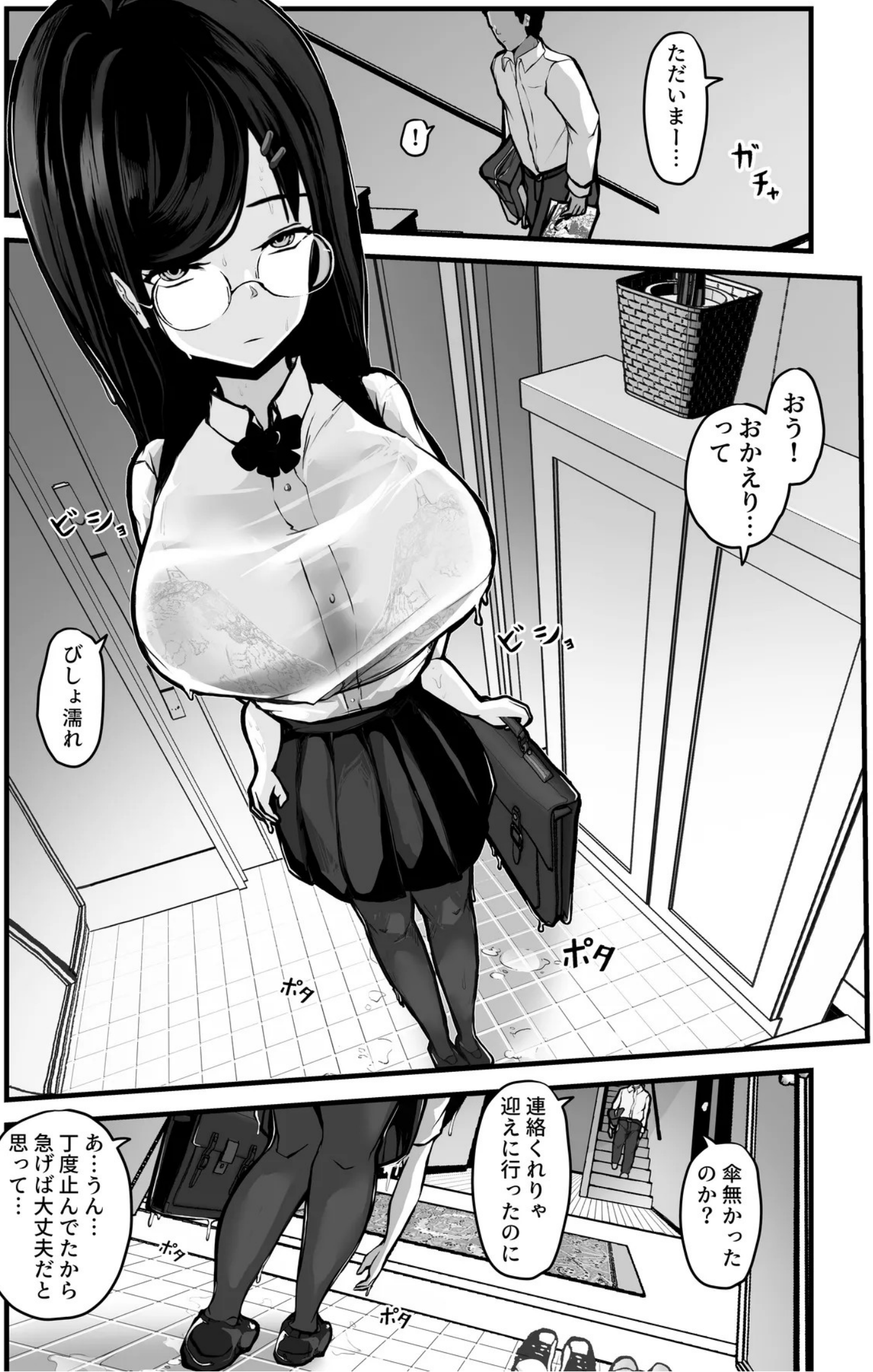
煽ってきた
性悪巨乳の妹を
わからせちゃったんだが、
親にチクられて
人生終了しそうwww
Presented by パンケーキ
R18
ADULT ONLY

……
一度でいいから
こんな爆乳
滅茶苦茶にしてみてぇ――……
バカバカしい…
何考えてんだ俺
あークソっ…
すげぇムラムラしてきた…
昼間からグラビアなんて
見るもんじゃねぇーな

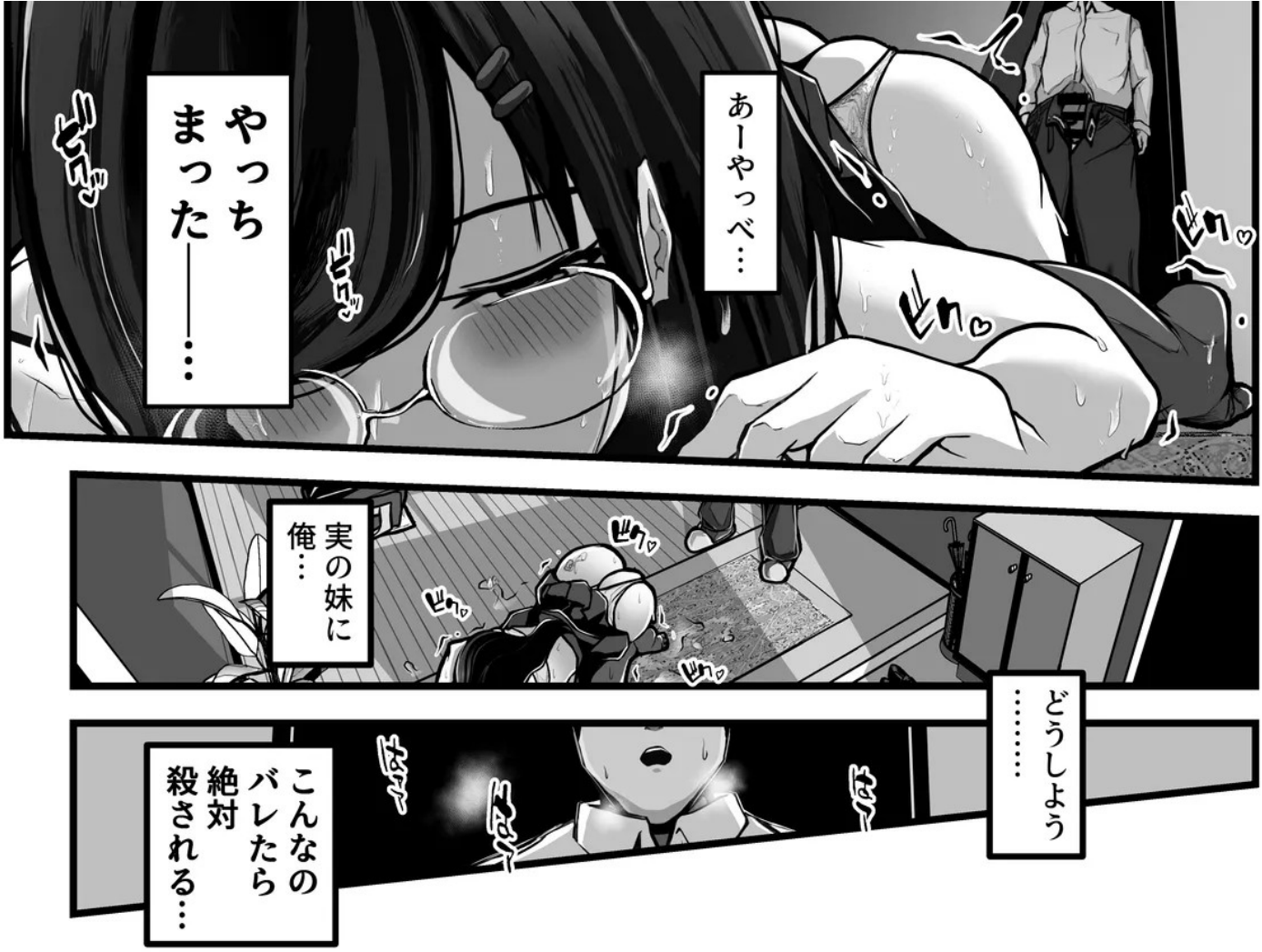

ただいまー…
ガチャ
！
おう！おかえり…って
ビショ
ビショ
びしょ濡れ
ポタ
ポタ
傘無かったのか？
連絡くれりゃ迎えに行ったのに
あ…うん…丁度止んでたから急げば大丈夫だと思って…
ポタ
ポタ

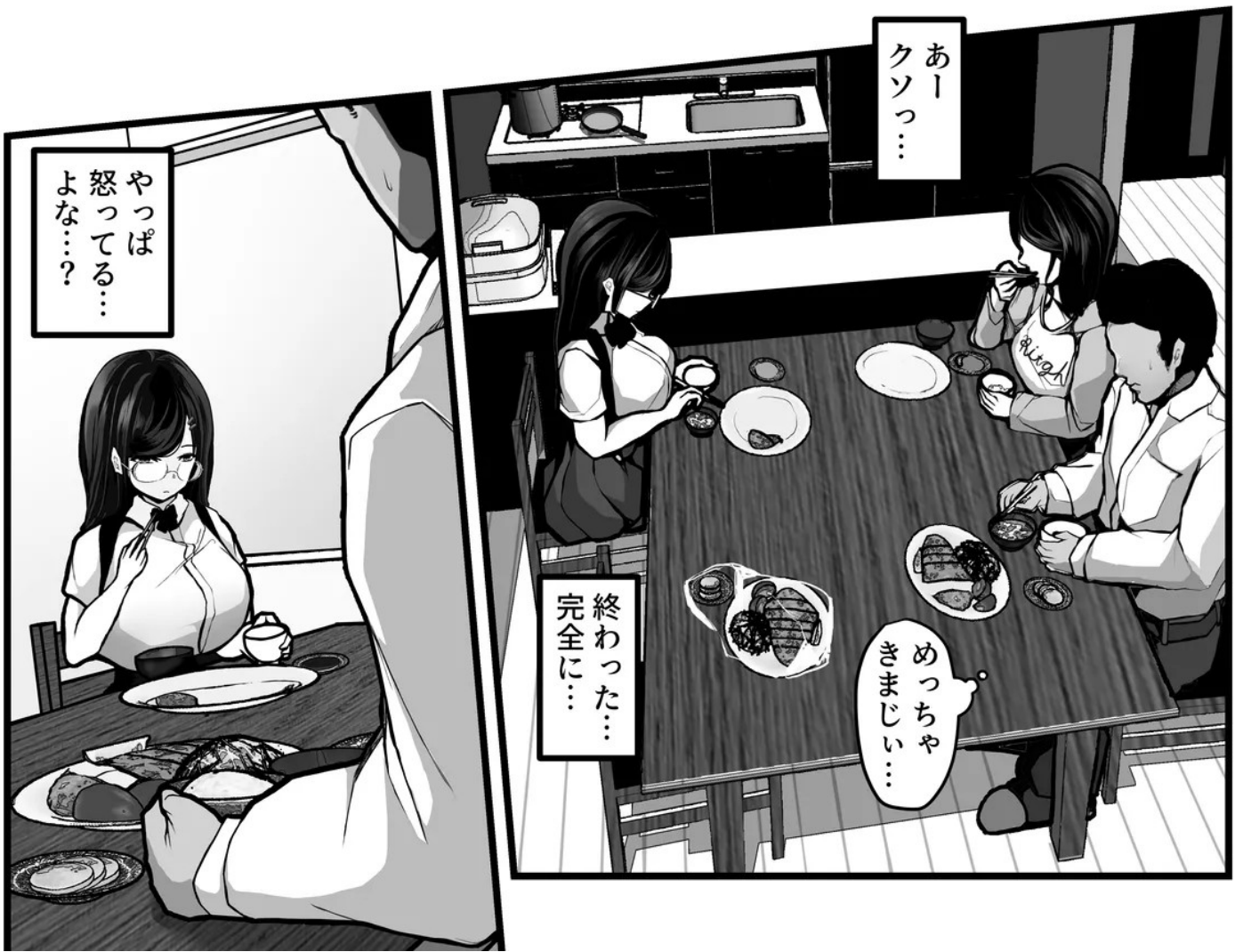
そっか…
やっぱ…
ボ
ン！
こいつって胸でかいよな…
ああっクソッ…
おにいちゃんタオル
なに妹に欲情してんだ俺…
てかいつの間にこんな普通の下着付けるようになったんだ？
少し前までスポーツブラ付けてたっていうのに…凄まじい成長スピードだな
おにいちゃん？
何ボーっとして…って…

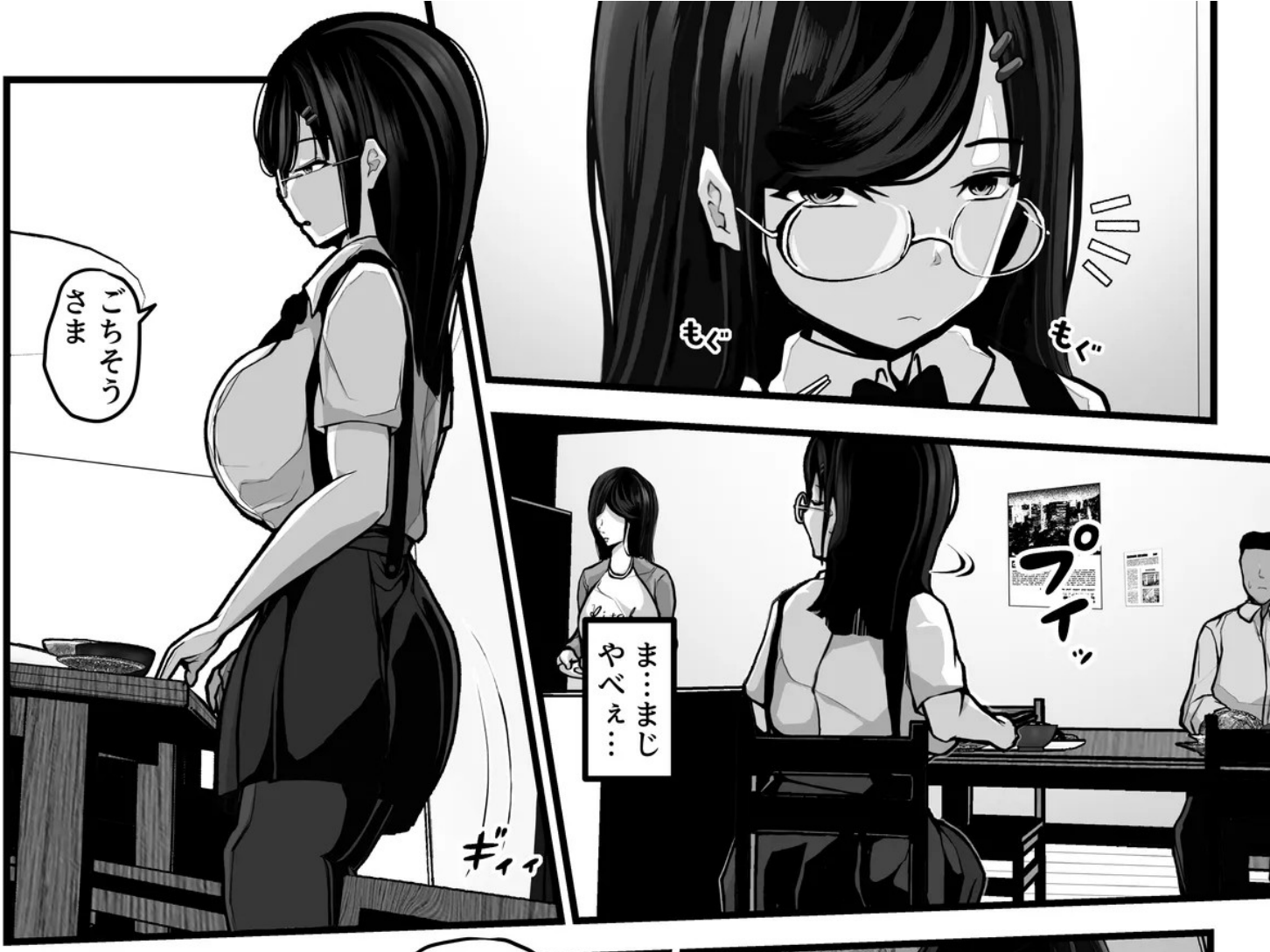
あら～？
もしかして
妹の透け透け
Yシャツで
興奮しちゃった
のかな～？
やっぱ～
妹に興奮
するとか
正真正銘の
変態じゃん
ギン
ギン
な!?
パ
シャッ
写真
撮っちゃお～
こいつ…調子に
乗りやがって
うわっこれ
まじ最高～
もう…
おにいちゃん
って本当に…
あーうっぜ…
何なんだよこいつ…
そんなんだから
いつまでたっても
彼女の一人も
できないし
受験も
失敗して
くっ
滑り止めにだって
落ちるんだよ～

昔から嫌な妹だった
うえーん！おにいちゃんがぶった～！
こらー！康太
お…俺何もしてないのに…
大丈夫？由香里？
うん…でも…
あたしもわるかったの
だからおにいちゃんをあまりせめないであげて
ぱぁぁ
常に被害者ぶって親の点数稼ぎ
由香里は優しいわね…
ごめん…な…さい…
本当に性根が腐った気持ち悪い奴だった

はぁ～
もう…からかったりしない…から
はぁ～
しゃしん…けす…から
はぁ～
だから…
お…にいちゃん…
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ
ビクッ
ごめんな…しゃい…
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ
ビュッ
ビュッ


あーやっべ…
やっちまった――…
実の妹に俺…
どうしよう……
こんなのバレたら絶対殺される…


あークソっ…
終わった…完全に…
めっちゃきまじい…
やっぱ怒ってる…よな…？


もぐ
もぐ
ごちそうさま
ギィィ
ま…まじやべぇ…
プイッ

ありがとう由香里は本当にいい娘ね…
康太にも見習ってほしいわ…

お母さん食器置いといていいよ
おにいちゃんが食べ終わったらまとめてあたし洗っとくから

……
でもあんな事した後の割には
意外といつも通りの感じだったな…
実はあんまり気にしてないとか？
な…訳ねーよな…
ガチャ
ガイイ
え…

ちょっ…
なっ…！
まさか
またっ！
き…
昨日は
ごめん!!
！
バッ

その…
色々言われて
ついカッと
なっちゃって…
分かってる…
最低だよな…
いくら何でも
妹にあんな事
するなんて…
……

あ…
あたしも…
その…
言い過ぎて
ごめん…
受験の事とか…
無神経だった
！
まあ…まさか
それだけで
兄にレイプされる
なんて思っても
みなかったけど…
……
まじドン引き
ほんと最低
クソ気持ち悪い
けど…
でも……
今回はあたしも
悪かったから…
だから
いいよ…
お母さんには
言わない
であげる…
ほ…
本当にっ…
こっち見んな
アホッ！
別に
許した訳じゃ
ないから！
バタンッ
いつバラしたって
いいんだからね？
…！

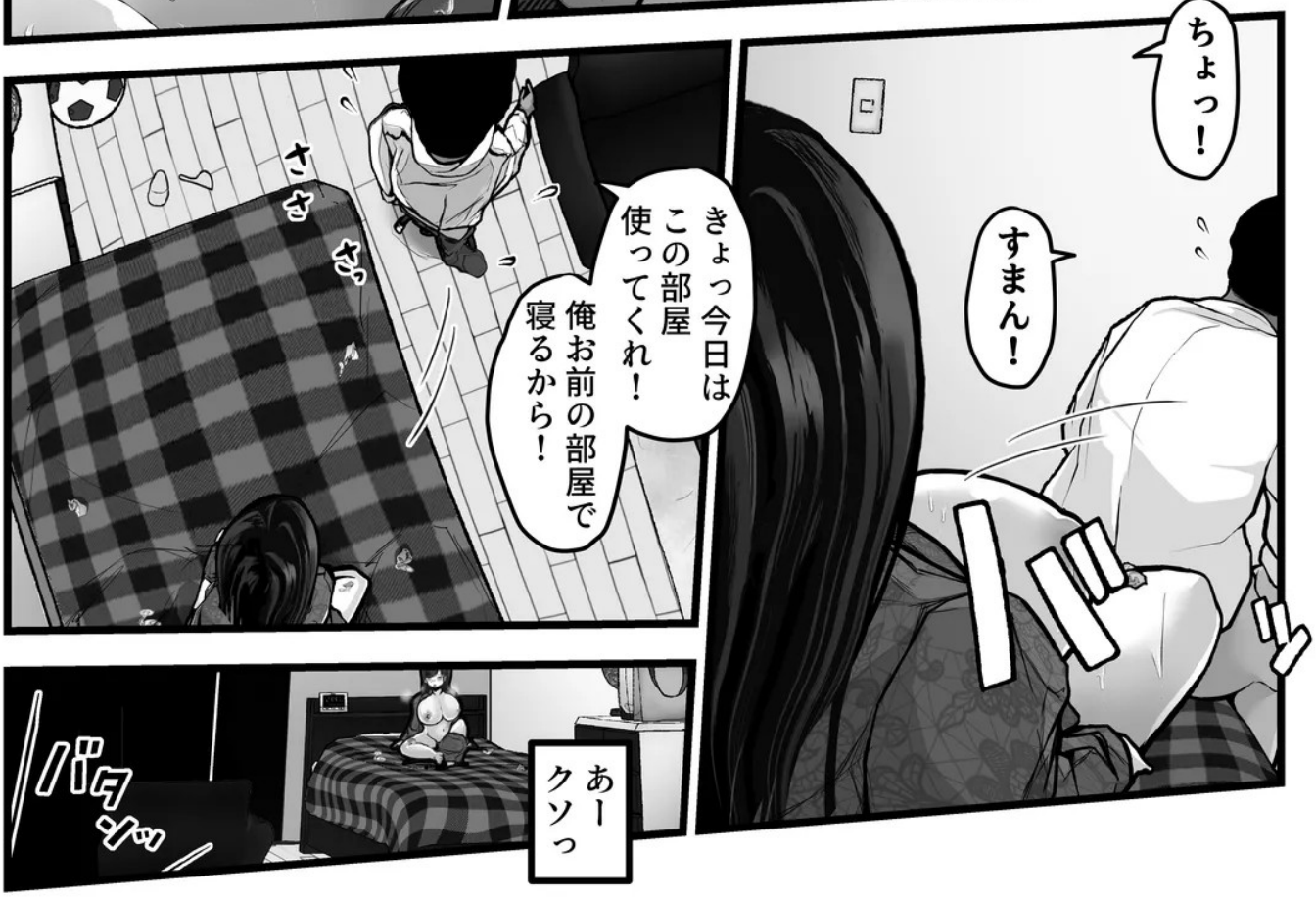
俺……
最低な事したっていうのに…
……
由香里が寛大でよかった――……
それにしてもさっきの由香里
あのムッチリした感じ最高だよな…
滅茶苦茶エロかったな…
あーくそっ…
あんな事の後なのに俺…最低だ

でも昨日は……
あの身体を好き放題にしたんだよな…
え？
おにいちゃん!?
ちょっどっ
どこ触って…
もにゅ
どういうつもり？
もにゅ
何してるか分かってる？
わ…わかった…
今止めればっ…
全部っ…
忘れてあげるだからっ…
由香里……
本当にっ…
これ以上はもうっ…
由香里っ…
由香里っ…！

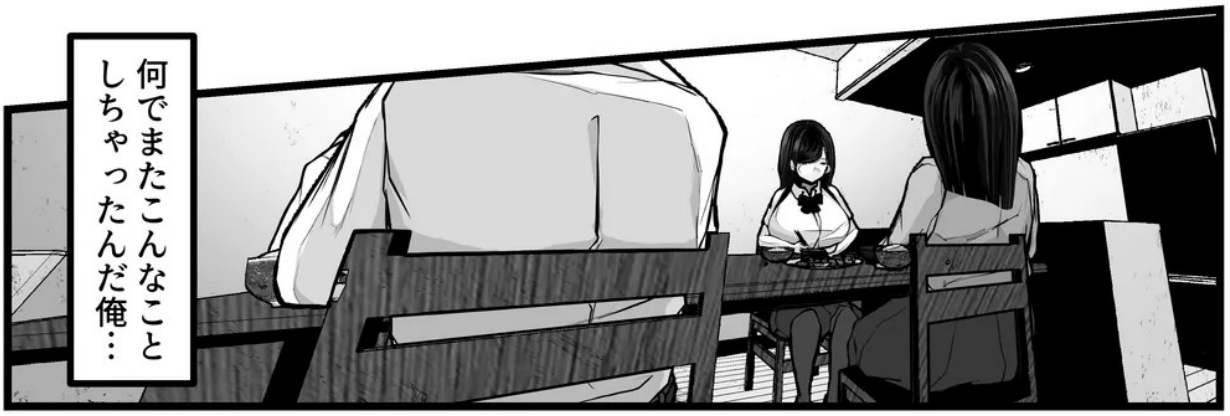
……っ！
はぁ
はぁ
はぁ

え…？
これ…現実？
俺……
なんで…
！
自分が
したこと…
覚えて
ないの…？
あ…
あたし…
そしたら
いきなり…
ん!?
も
にゅ
ん
おにいが
襲ってきて…
借りてた漫画
返そうと思って…
意味
分かんない…
もう何も信用
できないよ…

や…やばすぎだろ俺…
全く記憶にないんだけど…
どうしようこの状況…
な!?
ムク
ムク


ちょっ！
すまん！
きょっ今日はこの部屋使ってくれ！
俺お前の部屋で寝るから！
ささっ

バタンッ
あークソっ


何でまたこんなことしちゃったんだ俺…

もぐ
もぐ
大体なんでこいつ
こんなエロい身体
してんだよ
ギン
ギン
だめだ
おさまらん
時間無いけど
一発抜くしか
ねーな
ごちそう
さま
あんた…
全然反省して
ないでしょ
ちょっと
!
イラッ
さっきから発情
しまくってんの
バレバレ
だからね？
ギン
ギン

こっ…これはその
そういうんじゃ…
はっ！
ほ…ほらいいよ
は？
またいきなり襲われたらたまったもんじゃないし
口でしてあげる
ジー…
!?
ちょっ！
カチャ
カチャ
ぶる
!
んっ

……
由香里っ…
お前っ…
パク
うっ…
はあ
はあ
んんっ
ん…
んぐっ…
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
レロ
レロ
レロ
ん…
んんっ…

やば…
それっ…
もっもう…
イクっ…
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
んんっ!!
んっ
んぐっ
びくっ
びくっ
ッ―

ゴクン！
！
ちょっ…
お前…
はぁ
はぁ
飲んだのか…？
ほら…
今日も予備校あるんでしょ？
サボんなよ
だ…だって掃除すんのめんどいし…
そっちの方が手っ取り早いでしょ…
……
それからは

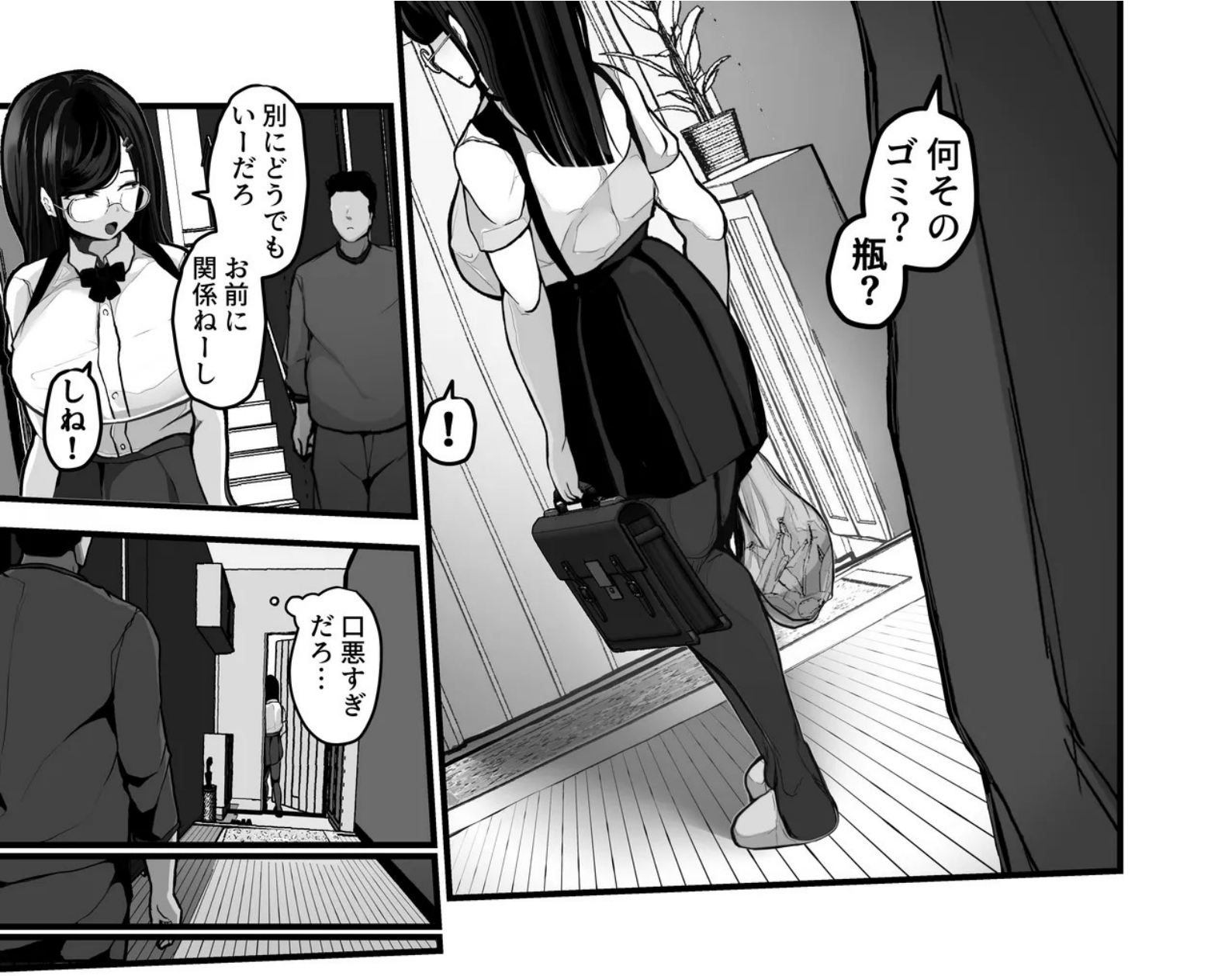
毎朝由香里に
処理してもらうのが
日課になった
!?
うっ！
なあ…また
いいか？
……
もう…
出る時は
教えてって
言ったよね？
すまん…
頼む！
一回だけ！
すぐ終わらせる
からっ！
ったく…どんだけ
欲求不満なんだよ…
!?
ほらっ…
さっさと
してよね

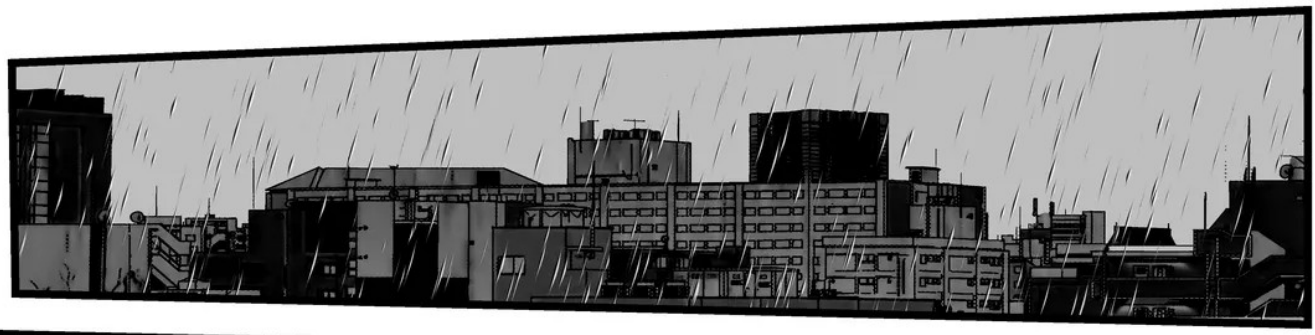
由香里は
いつも
事務的に
処理してる
だけって
感じだけど
なんだかんだ
この関係を
楽しんでる
ような気もする
だって前は
こんなエロい下着
つけてなかったし
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
あんま表に
出さないけど
ズポッ
ズポッ
ビクッ
意外と
感じてたりして…
ズポッ
ズポッ
ビクッ!?
ビクッ
ビクッ

うおっ
これやば…
メッチャ
締め付けられる…
腰止まん
ねぇ…

どこに指入れてんだてめぇっ！
ドン！
うおっ！
あんま調子乗ってんじゃねーぞ
こっちはいつバラしたっていいんだからな？
そしたらお前の人生なんておしまいなんだからな！
分かった？あくまでも私が上なの
次やったら全部ばらしてやるから
ぐぉっ…
クソが…

やっべー…
まさかあんなに怒るとは思わなかった…
あれからまた気まずくなっちゃったし…
ちょっと調子乗ってたな…
プイッ
もぐ
もぐ
56
全国の天気
●月●日
午後からは雨が降り始める見込みですので外出時は雨具を忘れないようにしましょう
……
バタンッ
今日予備校無くてよかった——…
午後から雨降るってよ
！
うん…ありがと
スッ


何そのゴミ？瓶？
！
別にどうでもいーだろ　お前に関係ねーし
しね！
口悪すぎだろ…
。



んっ…？
あっ…
やべ…寝てた

一時間位か…？
1655
あーくそっ…
でもまあ…おかげですっきりしたわ…
てか腹減った…
由香里に何か買ってきてもらおうかな…
ガチャ
でも今めっちゃ怒ってるしな…
ギロ
それに雨結構強いし…
頼みずれぇー…
ただいま…
ビショ
ビショ

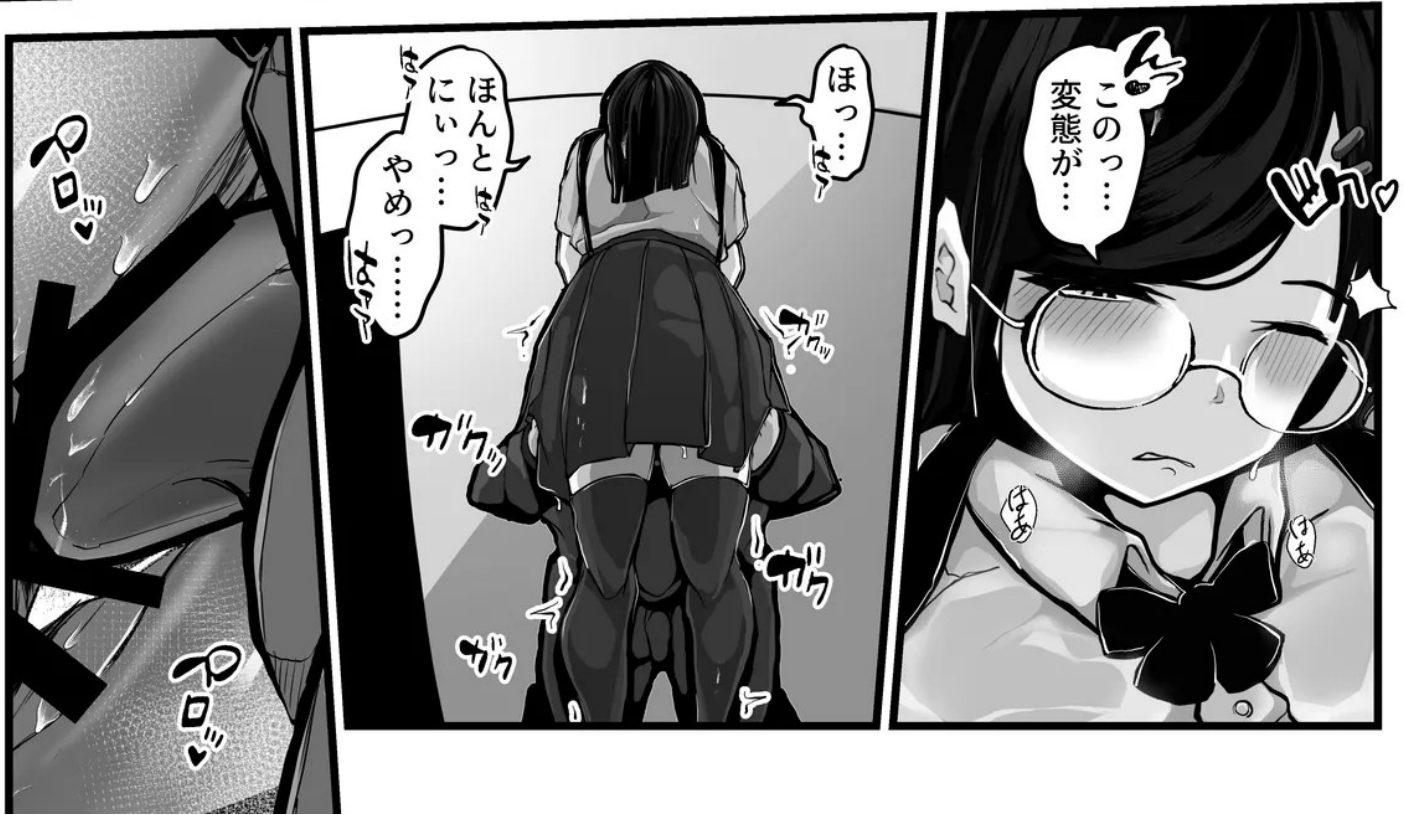
おー…
おかえり…って
雨降るって言ったよな？
早く取ってタオル
うるさいな…
ほらっ
パ
！
サッ
は？
拭いて
拭け
はやく
ビショ
ビショ
何で俺がんなこと…
……

でもこいつの機嫌を損ねる訳にはいかんしな…
ふき
ふき
髪はもういいから身体も拭いて
!
身体って…
ビシ。
ビシ。
いいのか…？
下着やっぱ…
ビシ。
ビシ。
ビシ。
ぐいっ
ん

柔らけぇ…
こんなの
反則だろ…
ふ…拭け
って
言ったん
だけど…？
むにゅ
むにゅ
やべぇ…
止まんねぇ…
グニュ
いい
加減に…
グニュ
ちょっ
くちゅ
くちゅ
ん…
ん…
ん…

ん…
ん…
ん…
ん…
う…
う…
レロ
レロ
な…
ツー
なに発情してんだ…
バカ…

なっ!?
お前っ…
調子に……
乗りすぎっ…
まじでっ…
やめろバカ…
しゅぶ
ぐぐっ
プロッ♥
プロッ♥
プロッ♥


このっ…
変態が…
ほっ…
はぁ
ほんと
はぁ
にいっ…
やめっ……
はぁ
ガクッ
ガクッ
ガク
プロッ♥
プロッ♥

まじ…っ
死ねぇっ…
ばか…
ばかぁっ…
ぴくん♡
ビク♡
ビクッ♡
ドッ
サッ
ぶるっ
ろ
ん
!?
えっ…
ちょっ…
まっ…
サー

あぁぁっ
ダメぇ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ビクッ
おぉぉぉぉ
いまっ…イってるから…
はぁぁ
チュッ
チュッ
チュッ
少しっ…休ませ…てっ…
はぁ♡

にっ
くりっ
ぬめっ
ぬるっ
おっおおっ
ぐ!
ぐぐぐ

えっろい下着付けやがって…
本当は襲ってほしくてたまらなかったんだろ…
ちがっ
こんなに締め付けて……
バレバレなんだよ！

んグッ!?
まだ
まだイッちゃう
パン
パン
パン
パン
パン
ズブ
ズブ

結局……

由香里がイきまくって
失神するまで
何回も
やりまくった
母さんが
帰ってくる前に
避難させねえと…
その後
部屋に運んで
気がついた由香里と
もう一回戦したのだった

……
……
おにいちゃん
いつもありがとう

子供の頃から
ずっと
一人だった

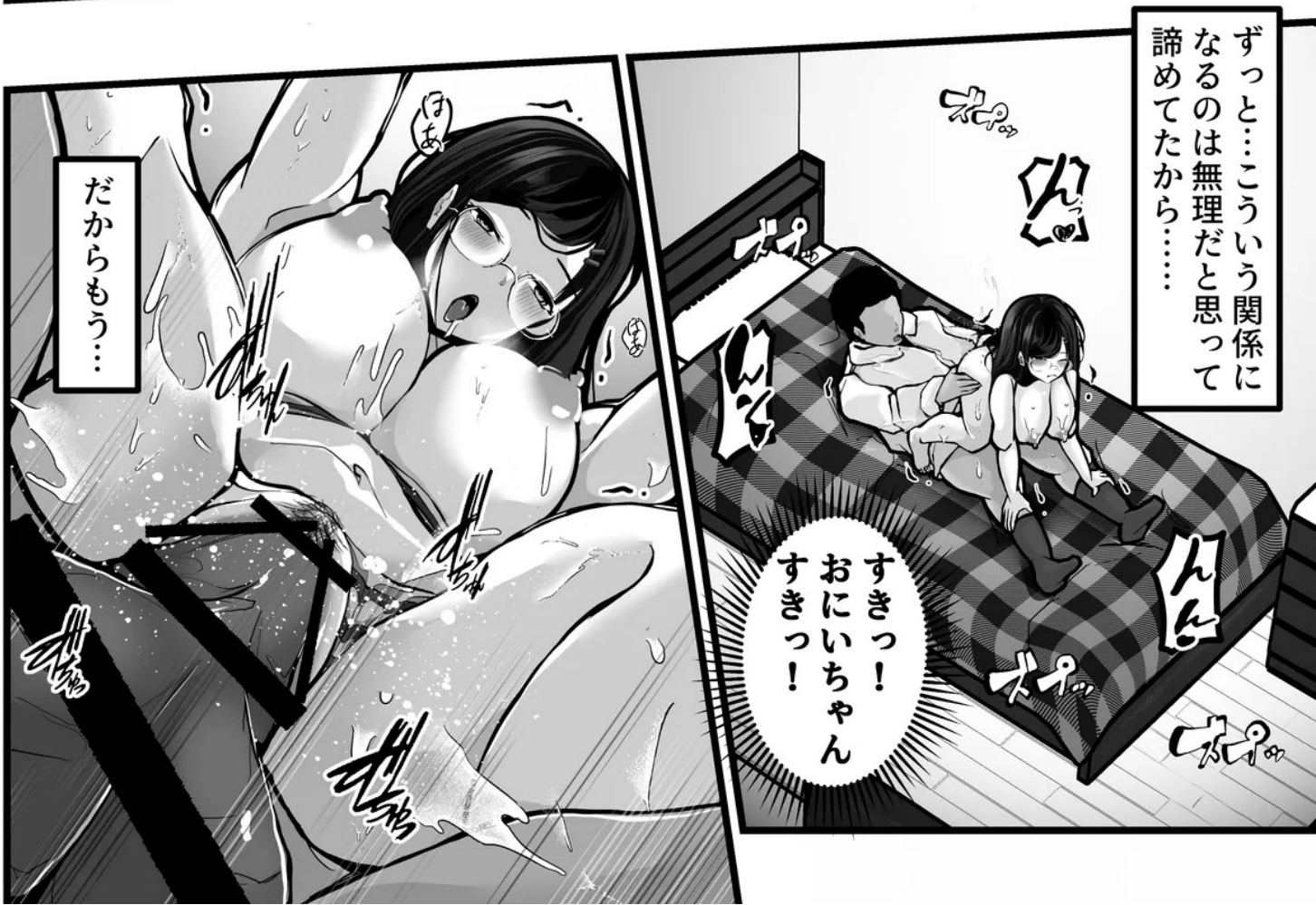
おまえら
いいかげんに
しろよ！
それいじょう
ガタガタぬかすと
ぶっコロすぞ！
自分の性格が
原因だってことは
分かってたけど

でもどうすることも
できないし
もうそういうものだと
割り切って考えてた
おまえ
ちょうし
のんなよな
なに
ぎゃくギレ
してんだよ
じぶんの
げんどーに
せきにんもてよ
だけどおにいちゃんだけは
いつも見捨てないでくれて
まあまあ
みんな
おちつけって
！
いやそいつが
……

あたしは
そんなおにいちゃんが
……
ずっと
大好きだった

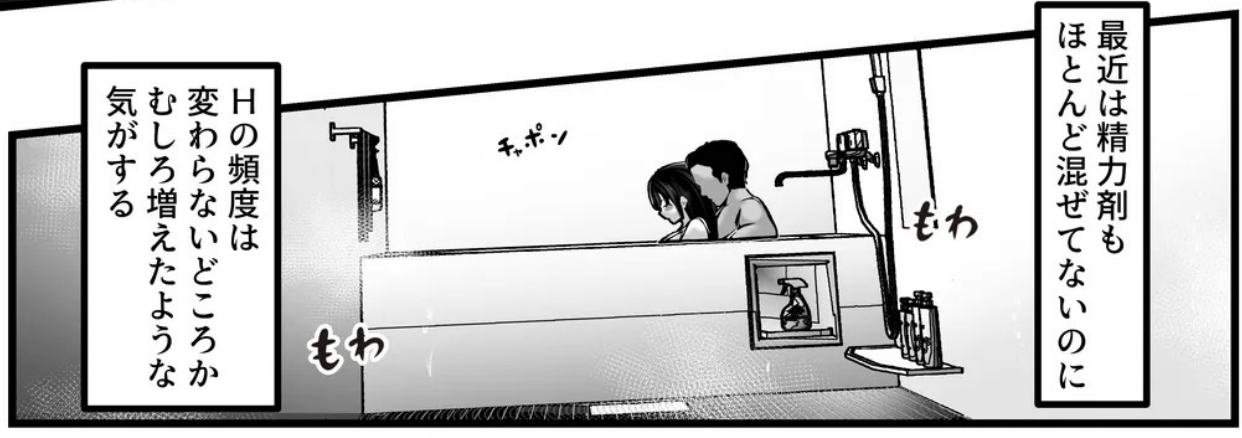
いつも素直になれなかったけど
うっさいしね！
うおっ
カッ
ドド
でもずっと大好きで
……
あたしはこの人と結婚するんだって思ってた
だから兄妹で結婚できないと知った時は本当にショックだったな
えっ…？
けど別にそれを知ってからも気持ちが無くなることはなかったし
むしろ時が経つにつれどんどん増していったと思う
……
そんなある日
偶然お父さんの部屋で見つけた精力剤
ポタ
ポタ
まさか
最初は本当に軽い気持ちだったから
あんなに効果があるなんて
はぁ
はぁ
はぁ
ボピッ
ボピッ
ボピッ
思ってもみなかったけど

でも
嬉しかったし
おにいちゃんが
あたしに興奮して
くれてる！
おにいちゃんも
あたしのことが好き！
これは使える
って思った
それからは毎日
おにいちゃんとセックスして
指…お尻に…
何っ…これっ
すごい…
気持いいっ…！


ずっと…こういう関係に
なるのは無理だと思って
諦めてたから……
すきっ！
おにいちゃん
すきっ！
だからもう…

こうやって
おにいちゃんと
結ばれてるだけで…
物凄い幸せ…♡

つながってる…
おにいちゃんと…
おにいちゃん♡
しゅき♡しゅき♡


最近は精力剤も
ほとんど混ぜてないのに
Hの頻度は
変わらないどころか
むしろ増えたような
気がする
チャポン
もわ
もわ

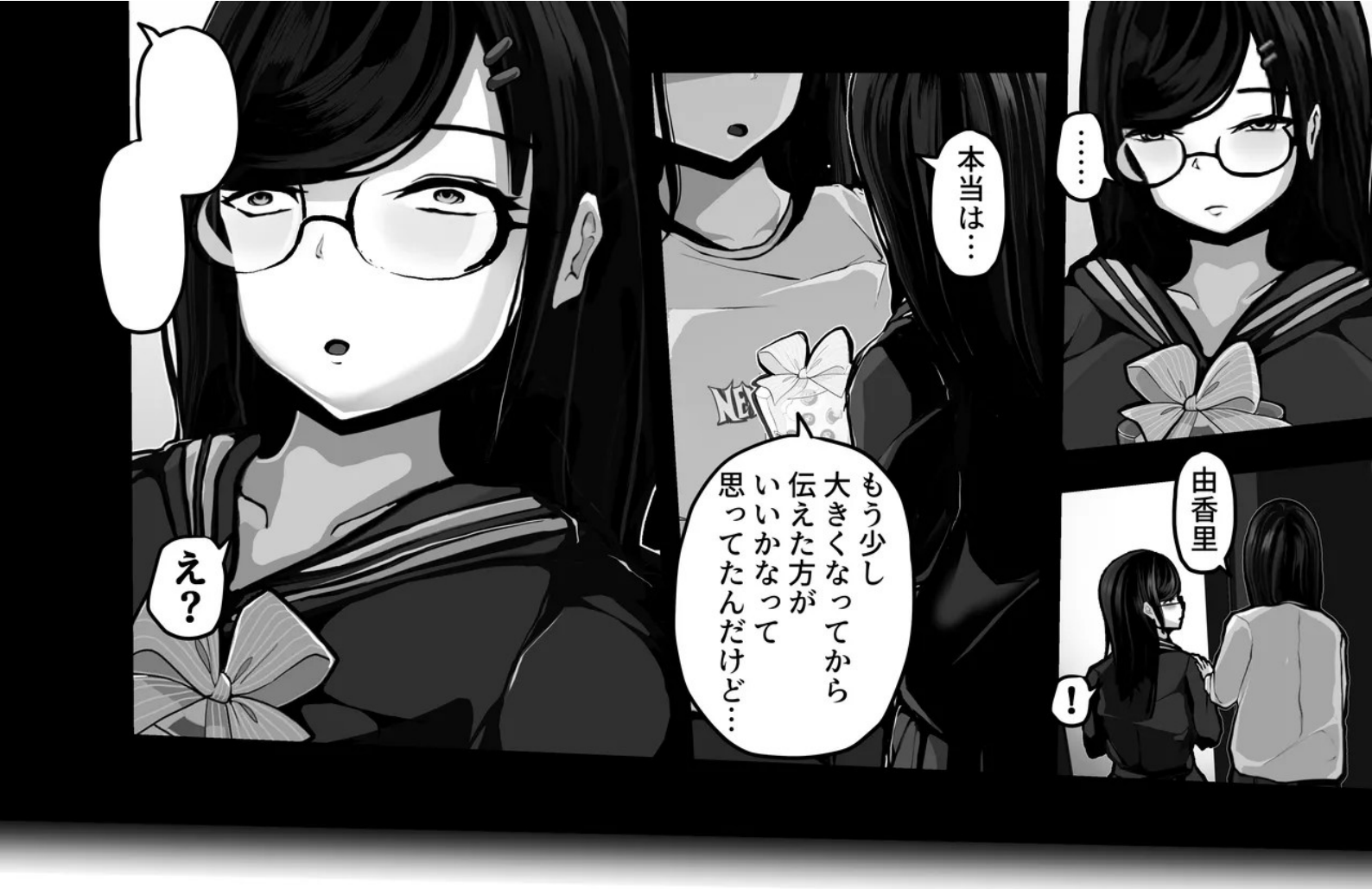
さ…さっきから
胸ばっかり…

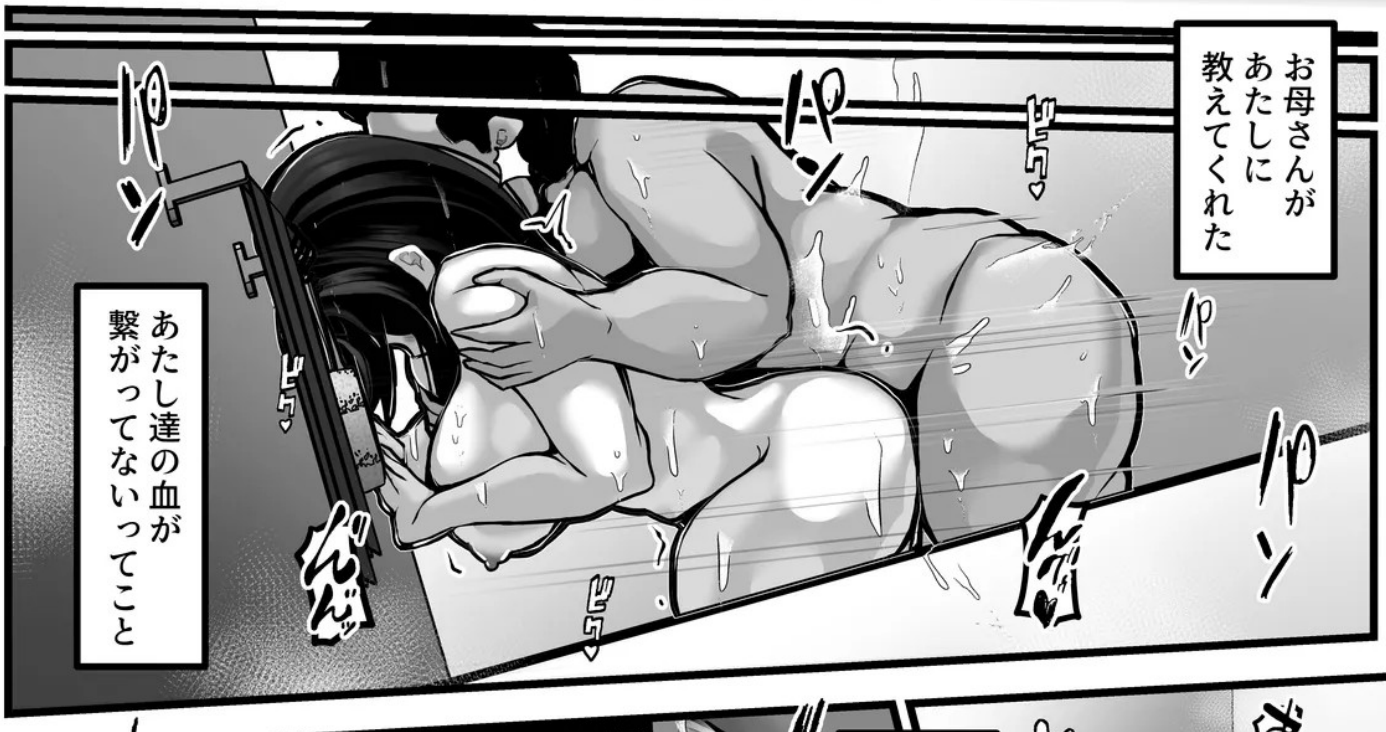
だ…だした
ばっかなのに…
すごい…
硬い…
かぁっ…
！

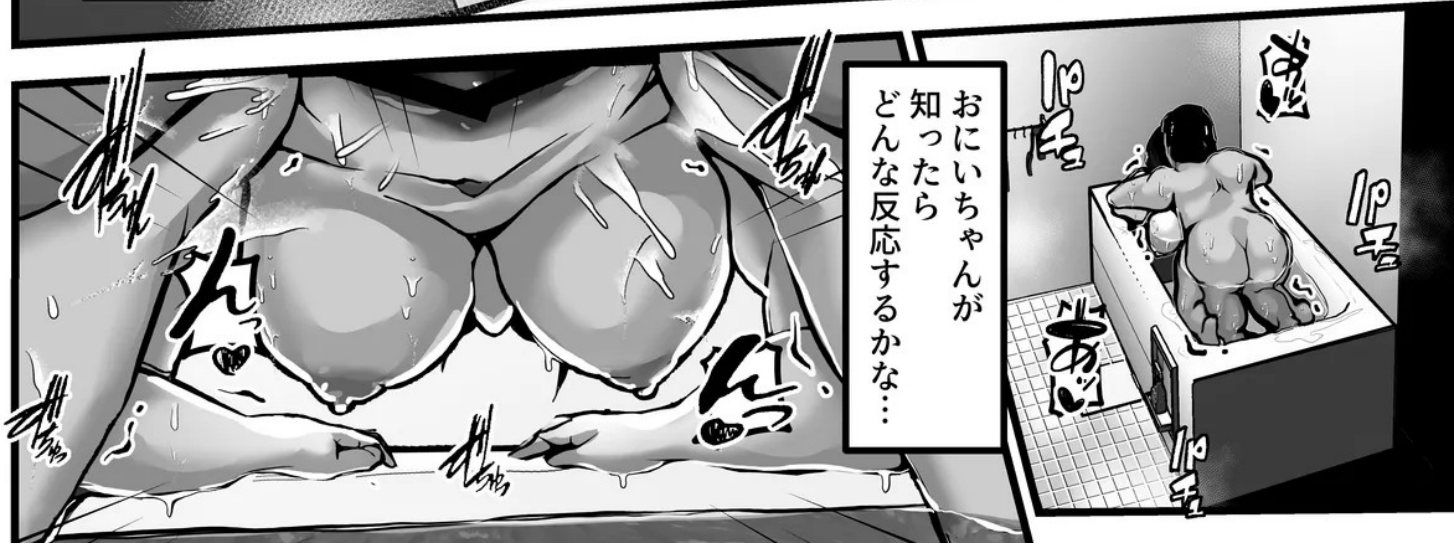
ったく…
すぐ欲情しやがって…
猿じゃねぇん
だからよ…

フゴォッ
もう！
何でいつも
素直に
なれないの?!
とか
言いつつ…
嬉しくていっぱい
奉仕しちゃう♡
ぱくっ

本当はもっと
自分をさらけ出し
たいのに…
由香里っ
由香里っ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
名前っ！
久々に呼んで
くれた！
嬉しい！
すき♡すき♡
あぁ
あぁ
あぁ


……
本当は…
もう少し
大きくなってから
伝えた方が
いいかなって
思ってたんだけど…
え？
由香里
！


お母さんが
あたしに
教えてくれた
あたし達の血が
繋がってないってこと


おにいちゃんが
知ったら
どんな反応するかな…

おおおお

あとがき

この作品は、「凌辱した妹と気まずそうにご飯を食べてるシーンが描きたい！」
という所からスタートしました。
当初の設定では妹は無口で従順な感じだったんですが、
それだと普通の良い妹を犯す主人公があまりにもやばい奴って感じだったので、
性格の悪い妹に煽られて衝動的に犯す感じに変更しました。
修正してもまだ主人公のやばい奴感は消えませんが、一応精力剤を盛られていた
ということでまあ…なんとか…許してください

おくづけ

「煽ってきた性悪巨乳の妹をわからせちゃったんだが、親にチクられて
人生終了しそうwww」

発行日: 2024/10/20
発行　: パンケーキ
連絡先: Mail　→ pankeki411@gmail.com
Twitter → @pankeki411

この物語はフィクションです。
実在の人物・団体などとは関係ありません。
本書の一部及び全部の無断複写、複製、
転載、インターネット上へのアップロード等を禁じます。

主人公

妹

後ろ

キャラクター原案